

環境報告書の作成について

水道局では、平成19年度の環境保全の取組や環境マネジメントに関する状況などを取りまとめ、総合的・体系的に紹介した「平成20年版環境報告書」を作成・公表します。

これにより、お客さまに横浜市水道事業の環境への取組をご理解いただくとともに、率直なご意見やご提言をいただき、継続的な環境負荷削減の取組に生かしていきたいと考えております。

1 対象期間

平成19年度（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

ただし、環境への取組等の施策については、最新情報として平成20年度の取組も一部記載。

2 構成

- (1) 基本方針
- (2) はじめに
- (3) 事業の概要
- (4) 水道水をお届けするまでの環境負荷
- (5) 環境マネジメントシステム
- (6) 環境保全の取組み
- (7) 環境コミュニケーションの取組み
- (8) 信頼性の高い水道水の品質管理
- (9) 環境会計



3 主な取組成果（P.4およびP.16参照）

(1) 環境負荷

水道水の製造過程で使用した電力などによる二酸化炭素年間総排出量は約**64,345t**で、前年度と比較して約**6,482t**、率にして約**11.2%増加**しました。これは、電力量は前年よりも削減できたものの、二酸化炭素の排出量を算出する値である排出係数(※)が増加したことによるものです。

※電気事業者の公表する原単位で、18年度は0.339 kg-CO₂/kwh だったものが、19年度は約25%増加し0.425 kg-CO₂/kwh になりました。

(2) 環境保全効果

環境対策の取組の成果として、二酸化炭素の排出量換算で約**24,154t**の削減効果がありました。これは**鶴見区の面積**とほぼ同じ広さの**森林3,197ha**が**1年間に吸収する二酸化炭素の量**に相当します。

4 公表方法

- (1) 環境に対する配慮から、前年に引き続き印刷は行わずウェブサイトのみの公表とします。
- (2) 水道局ウェブサイトアドレス

<http://www.city.yokohama.jp/me/suidou/kyoku/torikumi/kankyo-hozen/kankyo-houkokusyo.html>

5 公表開始日 平成20年12月5日（金）